

愛知みずほ大学 平成 21 年度パソコン公開講座報告

平野 緑・高橋 徹*・早川 幸恵**

愛知みずほ大学人間科学部 *愛知みずほ大学情報教育センター**愛知みずほ大学事務局

I. 今までの経緯と応募者数の変遷について

本学では平成 9 年からパソコン公開講座を実施してきた。今回で 19 回目（年に 2 度の開催もあり）の開講である。この公開講座の目的は、地域の人々とコミュニケーションのとれる開かれた大学として認知してもらうための一助となることである。初めの頃はまだパソコンというものが世の中にあまり普及していない頃であった（内閣府調査 17.8%）が、初心者対象に無料パソコン講座ということで宣伝に力をいれなくても 40 名位は応募者があった。しかし、だんだんパソコンが普及し始めて、30%台になると応募者が急速に増え一時は 160 名と大幅に定員を超え、年に 2 度の開講をしても、抽選漏れの方がたくさん出た。しかし、ほとんどの家庭でもパソコンがあるようになってきた頃、応募者が激減し、平成 17 年度は 20 名となってしまった。その原因は内容が、要望と合わなかったり、初心者が減ってきたことなど、さまざまあると考えられるが、広報活動に力を入れなかったことが大きかったと思われる。そこで平成 20 年度は大手新聞社に広告を掲載した結果、110 名の応募があり、2 教室での同時開講となった。このように応募者数の増減は世の中のパソコン普及率や、講座の内容、宣伝の仕方、開講日時などが絡み合って表れた結果だと思われる。

以下のグラフは応募者数の変化と、パソコン普及率の推移である。

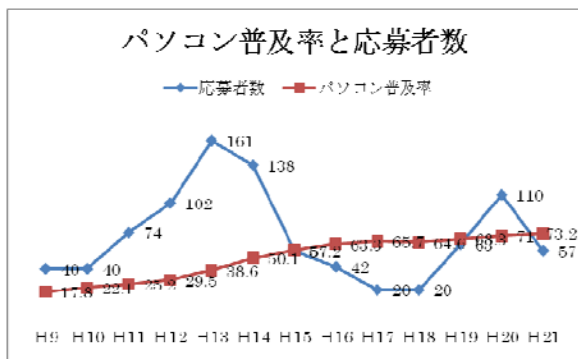


図 1. パソコン普及率と応募者数の推移
(パソコン普及率は内閣府調査より)

II. 受講者について

受講者の男女の比率や年齢の構成は以下のものである。

統計のとれる平成 10 年度から 15 年度までの 10 回分で分析した。

表 1. 応募状況（講座 10 回分の合計）

| 応募者 | 当選者 | 受講者 |
|-------|-------|-------|
| 647 名 | 346 名 | 301 名 |

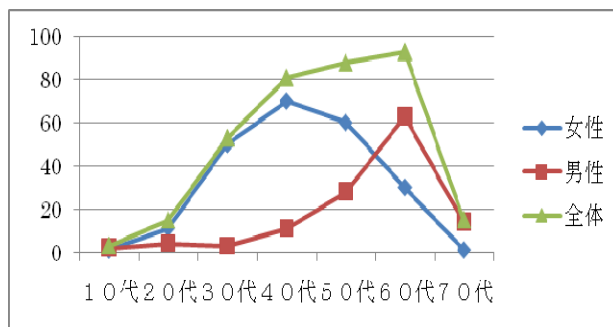


図 2. 年齢・性別受講者数 (単位: 人)

図 2 のグラフより参加者は 10 代から 70 代まで幅広く参加している。60 代が最も多く、女性は 40 代、男性は 60 代が多い。女性は子育てが終わった世代がパート等で働くときに必要だと考えて参加し、男性は定年退職後時間ができたので参加したという人が多いと思われる。また、公開講座受講者全体の平均年齢の推移を見ると（表 2）、40 歳代から 50 歳代へと移っていることがわかる。

表 2. 受講者の平均年齢 (単位: 歳)

| 年度 | H10 | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 |
|------|------|------|-----|------|------|------|
| 平均年齢 | 42.4 | 43.2 | 48 | 55.1 | 53.3 | 51.7 |

これは若い世代ではパソコンの初心者が減少していること、一方ではパソコンの普及によって中高齢者世代もパソコンへの関心が増していること、などによるのではないかと推測される。さらに団塊の世代が定年を迎えこのような公開講座への参加者が増えたのかもしれない。

III. 内容の推移

初めの頃は、大学のパソコン室はアップル社のマッキントッシュパソコンを使用していたので、ハイパーカードというマルチメディアソフトが使えた。当時としては大変先進性のあるソフトで、まだ Windows パソコンではこのよう

に簡単に絵を描いたり、音や写真を取り込んだりできるソフトは無く、このソフトは今思い返しても優れたソフトだったと思う。それを出発点とし、以下のように内容を展開してきた。

表3. 講座内容

| | 講座内容 |
|-----|-----------------------------|
| H9 | Macの基本操作、ハイパーカードで絵、アニメ、音、写真 |
| H10 | Macの基本操作、ハイパーカードで絵、アニメ、音、写真 |
| H11 | Excel、ワークシート、関数、グラフ |
| H12 | Excel、ワークシート、関数、グラフ |
| H13 | Windowsとは、キーボードの入力について |
| H14 | Windowsとは、キーボードの入力について |
| H15 | Windowsとは、キーボードの入力について |
| H16 | Windowsとは、キーボードの入力について |
| H17 | Windowsとは、キーボードの入力について |
| H18 | インターネットを利用してみよう、電子メール、暑中見舞い |
| H19 | Excel、ワークシート、関数、グラフ |
| H20 | Excel、ワークシート、関数、グラフ |
| H21 | Excel、ワークシート、関数、グラフ |

IV. 平成21年度実施概要

開催日時：平成21年8月7日(金)、8日(土)

10時～14時30分

場所：本学第1パソコン室

対象：どなたでも

内容：“表計算ソフトExcelを使ってみよう”ワークシートへの入力、簡単な関数、グラフの作成

講師：平野 緑、高橋 徹、早川 幸恵

アシスタント：本学学生 名

費用：無料

応募者数 57名

参加者数：40名

V. 最近の(平成20年度、平成21年度)アンケートから

1. 受講動機について

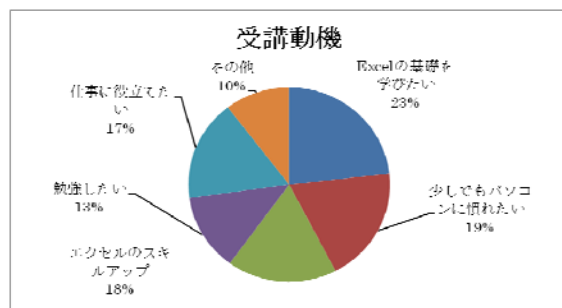


図3. 受講動機

図3.のように一番多いのは、Excelの基礎を学びたい。次は、パソコンに慣れたい、Excelのスキルアップ、仕事に役立てたいと続く。

2. 内容

次に希望する内容は、Excel、Word、PowerPointと続き、メール操作、HP作成を希望する人もいた。

Excelを希望する人の中には中級編を望む人もいた。

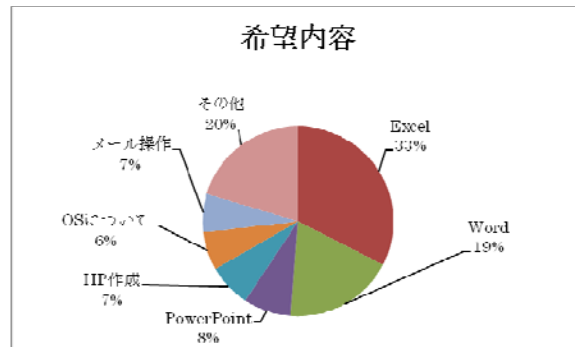


図4. 希望内容

3. 記述部分から

良かったという内容の一部

“こんなに親切にしてくれるところはめったにないのでうれしい。パソコンに不慣れでもわかりやすかった。学生のアシスタントが大変親切、人数が多く心強かった。パソコンが便利なものだということが分かった。”

悪かったという内容の一部

“超初心者にはあせった。もっとゆっくり。初心者なのでよく分からなかった。”

講座への要望

レベルごとの講座を望む。有料でよいのでExcel、Wordの講座を開いてほしい。USBメモリなどに保存する方法、プリントの仕方もやってほしい。

VI. これからの課題

パソコンの初心者は年々減ってくるため、宣伝に力をかけなければ参加者が集まらなくなってきた。平成19年度、平成20年度は有料で新聞広告を出すことにより応募者が増えたが、遠方からの参加者が多くなりすぎ、地域活動というコンセプトから外れてしまったため、平成21年度は大手新聞社では宣伝せず、地元地自体の基幹紙にて宣伝を行ったところ、40名ほどの応募があり当初のコンセプトに近い開講にこぎつけることができた。

受講者の要望の変化、世代変化は今後とも進むと思われるので、どのようなパソコン公開講座が望まれているのか見極め、適切な内容を提供できるよう工夫する必要がある。今後は、女性は40代のこれから再就職を目指す人達を、男性は定年退職後の人達をターゲットに考察していきたい。

VII. 参考文献

大久保、他(2009)情報処理教育の実践的研究(9)
日本教育心理学会総会論文集p255